

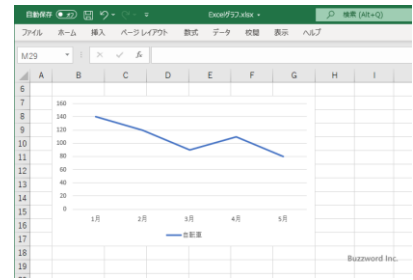
折れ線グラフの作り方

No.excel:23

PCクラブ 2024.03.20

伊藤 嘉明

折れ線グラフは各項目の値を頂点とし、それぞれの値を線分で結んだグラフです。複数の項目の値を頂点の位置で比較できますが、頂点を線分で結ぶことで値がどのように変化していったのかが分かりやすいグラフになっています。下記のグラフでは「自転車」の売上を「1月」から「5月」まで表しています。



折れ線グラフの作成

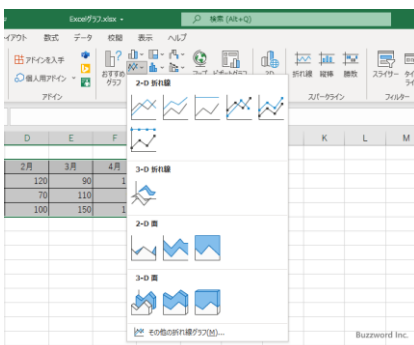
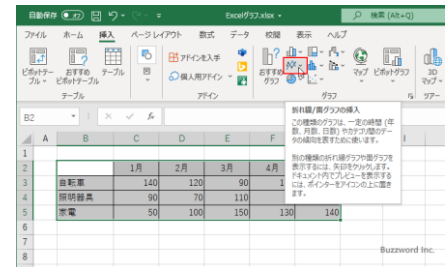
それでは折れ線グラフを作成してみます。最初にグラフの対象になるデータを選択してください。

	1月	2月	3月	4月	5月
自転車	140	120	90	110	80
照明器具	90	70	110	90	120
家電	50	100	150	130	140

	1月	2月	3月	4月	5月
自転車	140	120	90	110	80
照明器具	90	70	110	90	120
家電	50	100	150	130	140

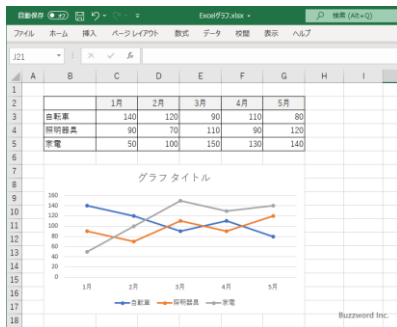
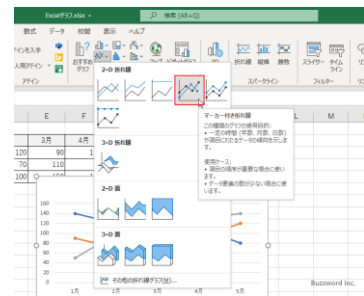
「挿入」タブをクリックしてください

リボンが表示されたら「グラフ」グループの中の「折れ線/面グラフの挿入」アイコンをクリックしてください。



折れ線グラフおよび面グラフに含まれるグラフの種類が一覧で表示されます。

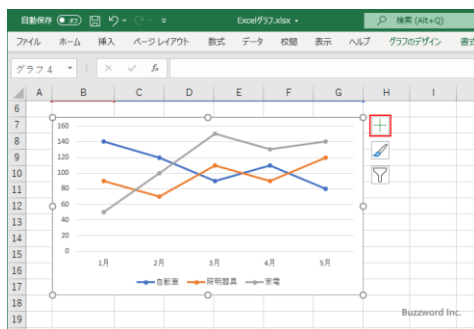
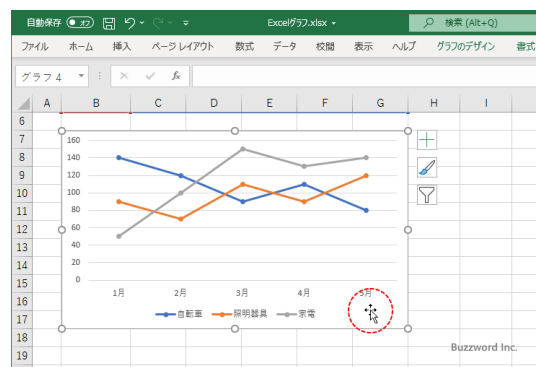
今回は「マーカー付き折れ線グラフ」グラフを作成します。
次の位置にある「マーカー付き折れ線」アイコンをクリックしてください。



マーカー付き折れ線グラフが作成されました。

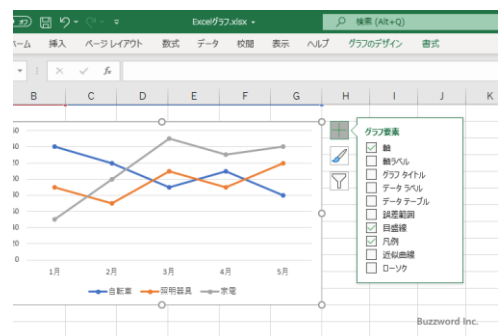
折れ線グラフに表示するグラフ要素を選択

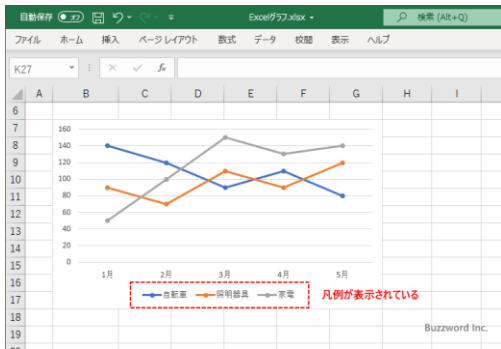
折れ線グラフには軸やタイトル、凡例、データラベル、などのグラフ要素を表示することができます。それぞれのグラフ要素を表示するかどうかを切り替えるには、最初にグラフを一度クリックしてください。



すると折れ線グラフの右上に 3 つのアイコンが表示されます。この中の「+」と表示されたアイコンをクリックしてください。

折れ線グラフに表示するグラフ要素を選択する画面が表示されます。

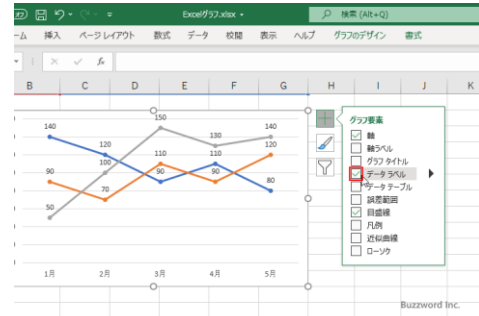
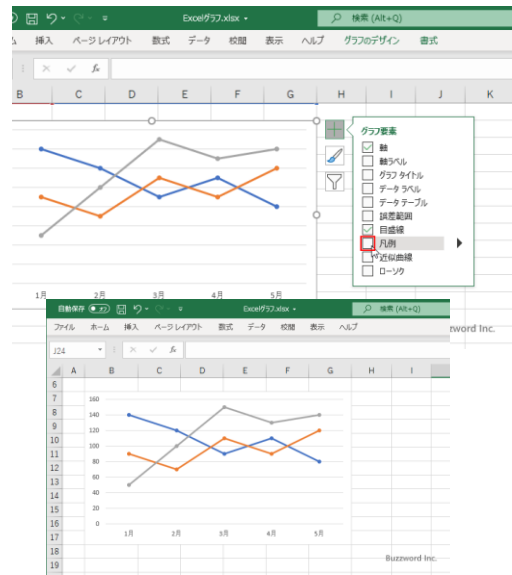




チェックが入っているグラフ要素は折れ線グラフに表示され、チェックが入っていないものは表示されません。例えば現在「凡例」にチェックが入っているので折れ線グラフには凡例が表示されています。

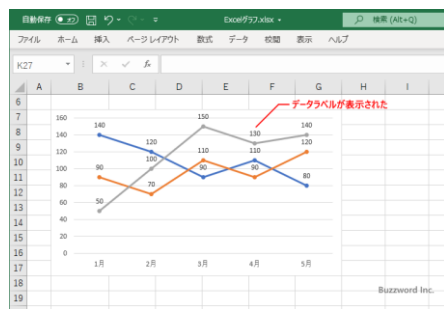
グラフ要素を選択する画面で「凡例」のチェックを外してみます。

折れ線グラフに凡例が表示されなくなりました。



今度はグラフ要素を選択する画面で「データラベル」にチェックをしてみます。

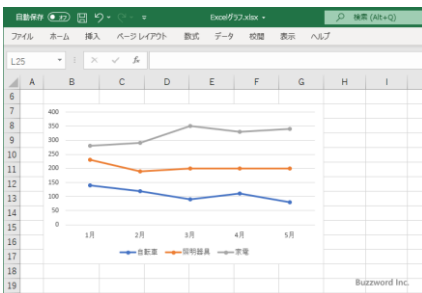
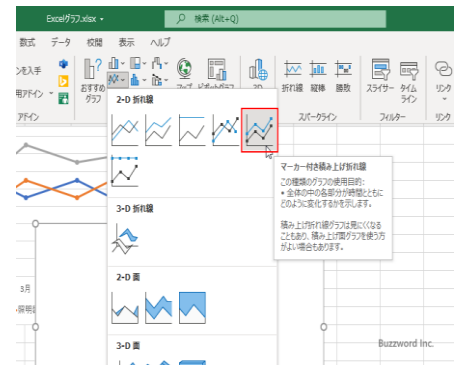
折れ線グラフにデータラベルが表示されました。



積み上げ折れ線グラフとは

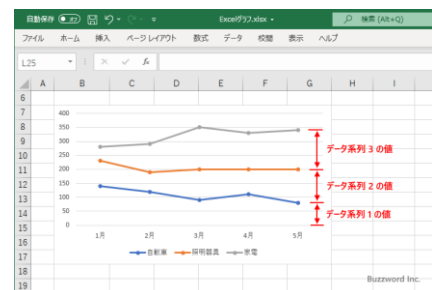
折れ線グラフではグラフに複数のデータ系列が含まれる場合は異なる色を使って同じように表示しましたが、積み上げ折れ線グラフではグラフに複数のデータ系列が含まれる場合は上に積み上げて表示します。つまり最初のデータ系列はそのまま表示しますが、2番目のデータ系列の値は2番目までの値をすべて合計した位置に頂点を表示します。3番目のデータ系列は3番目までの値をすべて合計した位置に頂点を表示します。

実際に作成する場合は、次の「マーカー付き積み上げ折れ線」をクリックしてください。



次のような積み上げ折れ線グラフが作成されます。

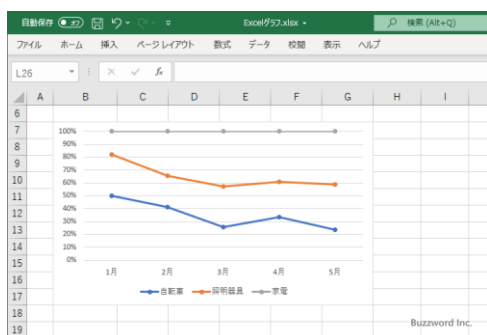
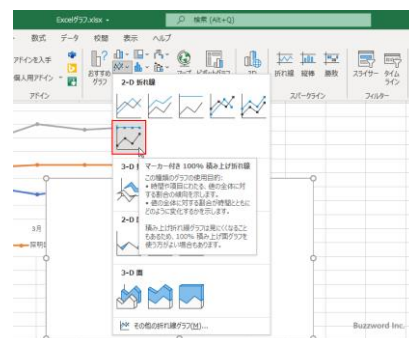
一番上のデータ系列の頂点の大きさは同じ項目の複数のデータ系列の値の合計となります。



同じ項目に対するデータ系列毎の内訳を表示しつつ、データ系列の合計の値を比較する場合に便利です。ただし積み上げ折れ線グラフは見ただけでは通常の折れ線グラフか積み上げ折れ線グラフかは判断が付きません。積み上げ形式のグラフを作成するのであれば積み上げ折れ線グラフではなく積み上げ棒グラフを作成することをお勧めします。

1000%積み上げ折れ線グラフとは

100% 積み上げ折れ線グラフでは最後のデータ系列の頂点が示す値の大きさはすべて同じです。その中で、同じ項目の複数のデータ系列の値の合計に対する、個々のデータ系列の値の割合に応じて頂点を積み上げて表示します。実際に作成する場合は、次の「マーカー付き 100% 積み上げ縦棒」をクリックしてください。



次のような 100% 積み上げ折れ線グラフが作成されます。

このグラフでは実際の値は分かりません。分かるのは同じ項目におけるそれぞれのデータ系列の値の割合だけです。縦軸の目盛も実際の値ではなくパーセンテージとなっています。

